

上野原市土砂災害ハザードマップ

お問い合わせ先: 上野原市役所 【代表】TEL 0554-62-3111 【危機管理室・危機管理担当】TEL 0554-62-3145 令和3年3月作成

土砂災害ハザードマップについて

土砂災害ハザードマップは、山梨県が指定した土砂災害警戒区域を表示しています。土砂災害警戒区域は、土砂災害(けがれ、土石流、地すべり)が発生した場合に、住民に危害が生じるおそれのある区域です。

台風や集中豪雨など大雨の際には、土砂災害に注意し、異常を感じた際は避難勧告等(警戒レベル4以上)が出されたりした場合は、ただちに避難してください。

なお、土砂災害警戒区域以外の斜面や渓流においても土砂災害が発生することがあります。周囲の状況をよく見て、安全を確保してください。

このマップの使い方

①自宅周辺の危険な箇所を確認する

- あなたの家や良く行く場所を地図上でさがしましょう。
- あなたの家や良く行く場所の周辺には、危険な箇所がありますか?
- ※土砂災害警戒区域の他に、高いかけなども注意しましょう。

②避難場所までの経路を確認しましょう

- あなたの家から避難場所まで、どれくらい時間がかかりますか?
- 避難場所までの経路に土砂災害の危険な場所、水路やいつつある道路がありますか?
- ※市が指定した避難場所に行けない時に、安全を確保できる場所も確認しておきましょう。

③実際に避難場所まで歩いてみましょう

- 避難場所までの経路にある危険な場所をチェックしましょう。
- △危険な場所 □道路の冠水箇所、用水路、高崖、谷の出口
- 夜間でも避難できるような街灯はありますか?
- 避難経路沿いに避難を呼びかけていく住宅等はありますか?

④我が家避難計画をたてましょう

- 避難場所までの所要時間や危険箇所の状況から、いつ避難するかをきめておきましょう。
- 避難を判断するため必要な情報の入手先を確認しましょう。
- 非常持ち出し品・非常備蓄品の準備と確認をしましょう。

避難所・避難場所一覧

避難所・避難場所

No.	名 称	地区	所 在 地
1	⑩旧大目小学校	大目	大野4013
2	⑪旧甲子和中学校	大目・甲東	野田原808
3	⑫大目出張所	大目	大野1261
4	⑬上野原市小学校旧見見分校	甲東・和見	和見955
5	⑭甲東出張所	甲東	野田原334-1
6	⑮旧沢松小学校	巖・沢松	八ツ沢12
7	⑯上野原西小学校	巖・コモア	コモア22-13-1
8	⑰上野原西中学校	巖	四方津215
9	⑱日本鶴小学校	大鶴	大倉1571
10	⑲島田小学校	島田	鶴島204
11	⑳旧島田中学校	島田	鶴島225
12	㉑上野原小学校	上野原	上野原3454
13	㉒上野原中学校	上野原	上野原9191
14	㉓上野原市文化ホール	上野原	上野原3832
15	㉔上野原高等学校	巖・沢松	八ツ沢555
16	㉕日大明誠高等学校	上野原	上野原3200
17	㉖旧桐原小学校	桐原	桐原7234
18	㉗旧桐原中学校	桐原	桐原6443
19	㉘ふるさと長寿館	桐原	桐原2374-1
20	㉙旧西原小学校	西原	西原6996
21	㉚西原出張所	西原	西原3947
22	㉛秋山小学校	秋山	秋山8674
23	㉜秋山中学校	秋山	秋山6770
24	㉝旧浜沢小学校	秋山	秋山11862
25	㉞無生野集会所	秋山	秋山12370-1
26	㉟旧桜井小学校	秋山	秋山3325
27	㉟上野原市中央防災公園	上野原	上野原3760-1

避難の心得

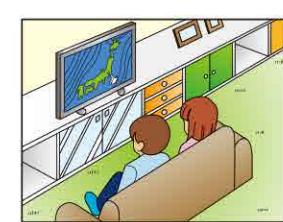
避難を開始するときの心得

日頃から避難に必要なものを整理しておくとともに、避難の手順について家庭で話し合をしておくといざというとき、あわてずに避難ができます。また、避難するときは、ラジオや広報車からの情報を確認し、ひとりで行動せず、必ずグループで行動しましょう。

最新情報の収集

テレビ、ラジオ、インターネットで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。

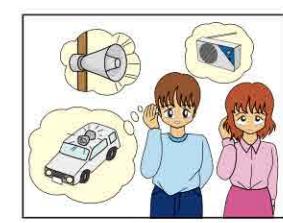
※情報の入手先は「裏面」を参考に!



避難の呼びかけに注意

危険が迫ったときに、市役所や消防署などから避難の呼びかけをすることがあります。

呼びかけがあった場合には、速やかに避難しましょう。



屋外の状況に注意

避難場所までの移動がかるって危険である感じるときは、近くの南文な建物や2階以上の山から離れた部屋に移動しましょう。



避難する前に、もう一度火元の確認を

ガスの元栓、電気のブレーカーも忘れないで止めましょう。



動きやすい格好、2人以上の避難

避難するときは、動きやすい格好で、2人以上の行動を心がけましょう。



避難のときに注意する場所

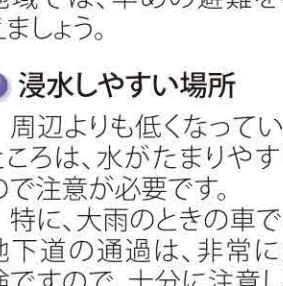
避難場所までの路上には、いろいろな危険が潜んでいます。日頃から身の回りの様子を観察し、大雨のときに危険な場所を確認しておきましょう。

特に、大雨のときに田んぼの見回りなどで増水した川や水路に近づくことは危険です。

水路の周辺

水路には、ガードレールなどの防護柵がないことがあります。また、側溝に土が落ちたり、崩れたりすることがあります。大雨のときは近づかないようになります。

また、渓流や「かけ」の近くに住宅がある場合には、早めの避難を心がけましょう。



灾害時要援護者への避難の協力

お年寄りや乳幼児、障がいのある人は、早めの避難が必要です。日頃から地域でのコミュニケーションをはかり、災害時に円滑な避難ができるように心がけましょう。

●高齢の方や病気の方には
背がつたり、ひじや肩にこまつもらつたりして誘導しましょう。常備薬は忘れずに。

●身体の不自由な方には
それぞれの人達した誘導方法を確認し、早めの避難を心がけましょう。車椅子の場合、階段では3~4人で協力し、上がるときは前向きにして、下りるときは後ろ向きにして、恐怖感を与えないようにしましょう。

●目、耳の不自由な方には
誘導するときは、声をかけながら杖を持っていない腕のひじのあたりに軽く触れるか、腕を貸してゆづり歩きましょう。
手話、筆談、身振りなどで現在の状況を知らせましょう。

●妊婦の方や乳幼児には
困っていることがないか声をかけ、避難場所まで一緒に行動しましょう。

